

兵器と戦争
2024年・9月・1日
ポー・スターン・ブレイディー

ようこそ子供たち。本を参考にしてください。

今日: パウロのエペソ人への手紙の学びを象徴的な一節で締めくくります。戦争と武器について語っているので、とてもエキサイティングな一節です。いつも楽しい時間です。私たちは良い戦いが大好きです。実際、良い戦いに勝つことが大好きです。周りで戦いが繰り広げられている間、ソファの下に隠れていることが目的のビデオゲームを想像してみてください。防御用もその他の武器も手に入らず、邪魔にならないようにする以外、戦いに参加する余地はありません。私たちは本当に強く、善良で、頑丈な兵士として、そして神の王国が私たちの世界に到来するのに参加するように造られました。

しかし...私たちは間違った種類の戦いに満ちた世界に住んでおり、パウロもそうでした。(歴史) そこでパウロは教会に明確な指示と本当に強力な武器を与えるつもりです。しかし、その武器を教会の手に渡す前に、戦闘のルールを説明したいのです。そして、私の意見では、これほど衝撃的な聖書の一節が、これほど明確で決定的な形で提示されたことはかつてなかった。武器と戦争に関するこの最初の部分は、私たちが読んで理解するために不可欠であり、手紙の残りの部分から切り離されてはならない。:

“最後に言う。主にあつて、その偉大な力によって、強くなりなさい。 悪魔の策略に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさい。 わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである。”

エペソ人への手紙 6:10-12 口語訳

主とその力ある力によって強くなりなさい。 それ自体が、私たちの信仰の根底にある要素です。この一文は、教会が権力を望むことを許可しますが、それは特定の種類の権力に限られます。「絶対的な権力は絶対的に腐敗する」という格言があり、私はそれを信じています。パウロが手紙を書いている人々は、この原則が数え切れないほど多くの方法で実際に機能するのを目撃しました。彼らの文化で働いていた権力は残酷で無情で暴力的でした。しかし、ここでパウロは彼らにこう言っています。「権力はあなたがたのものです」。しかし、絶えず変化する地政学的権力構造の中で、パウロは教会に、彼らがどのような権力を切望し、その中で生きることが許されているかを思い出させています。「主にあつて、主の力によって強くなりなさい」。

イエス。力強い方。全能の御方。絶対的な力の真の定義... 召使いの姿をとられました。十字架に自ら釘付けにされました。罪人のために亡くなりました。弱者を守り、疎外された人々を

集め、飢えた人々に食事を与え、貧しい人々に奉仕しました。絶対的な力...絶対的な愛。
(バックパック用子供用キーホルダー!) (そして、イエスを死者の中からよみがえらせた方の霊
があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなた
がたのうちに住んでいるその霊によって、あなたがたの死ぬべき体をも生かしてください。
ローマ8:11 - イエスが私たちに託す力は常に命へと導きます。)

神の力は常に世界を探し出して救い、神から私たちが遠ざけようとする敵の企てを打ち砕くために働いています。それは決して私たちが滅ぼすために働いているのではありません。私たちの力がお互いに、あるいは神の似姿を持つ人々に向けられると、それは危険で破壊的なものになります。(おそらく:先週の聖書には奴隷と主人が含まれていました。パウロは一文で、職場の権力構造を覆しています。主人たちよ、奴隷を同じように扱いなさい。彼らを脅かしてはいけません。彼らの主であり、あなたの主でもある方は天におられ、偏りのないことをあなたがたは知っているからです。このような階層の平準化は、その時代とその社会システムでは破壊的でした。私たちが地上の力を持つほど、常に神の力の中で生きるために戦わなければなりません。なぜなら、神の力の力は常に私たちが謙虚さと愛に導くからです。神の力の力は、奴隷制という邪悪な力の不均衡を終わらせるために戦う勇敢な先駆者たちを動かしました。その同じ力が、私たちの世界で機能しているあらゆる虐待的または抑圧的な権力構造の犠牲者のために戦うのを助け続けています。飢えた人々、疎外された人々、弱い人々のために戦うこと...それこそが、主にあって、神の力の中で強くあることの定義です。力。)

今週は特に強いと感じた週ではありません。弱い週でした。友人数人に対する悲しみで弱気になりました。世界の状況に疲れて弱気になりました。そして、ある日はただ弱気になりました。私自身、集めるべき力はあまりありませんでした...だから、パウロのこの教えは私をととても励ましました。主の中で強くなりなさい。私は自分の力を必要としません。私は重い心の重みをすべて主に、そして主の力に頼ることができます。これは良いことです。なぜなら、私が自分自身の中で強いとき、私はしばしば間違ったことに自分の力を使うことを選ぶからです。間違った悪者と戦って捕まってしまうことがよくあります...間違った悪者を選ぶのです。それで、不正と抑圧と戦いに満ちた世界で...正しい悪者は誰でしょうか？パウロは私たちにもっと明確に教えてください:

“悪魔の策略に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさい。わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである。それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、堅く立ちうるために、神の武具を身につけなさい。すなわち、立って真理の帯を腰にしめ、正義の胸当てを胸につけ、平和の福音の備えを足にはき、その上に、信仰のたてを手に取りなさい。それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう。また、救のかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち、神の言を取りなさい。”

エペソ人への手紙 6:11-17 口語訳

私たちが生きている戦争の重圧にどう対処すればよいのでしょうか。まず、立ち向かってください。パウロはこの言葉を4回繰り返しています。自分の立場を守りなさい。計画に忠実であ

りなさい。気を散らしたり、揺さぶられたり、脇道にそれたりしてはいけません。当時の気を散らすものや落胆するものは今とは違っていました、同じでもありました。しかし今、私たちの注意と愛情を奪い合うものは非常に多くあります。回転する光るものがいたるところにあります...私たちの手のスクリーンのスペースを通して、まったく別の世界が利用可能です。テキストメッセージのトーンは、誰かがあなたを望んでいます。誰かがあなたを知っていると知らせています。このメッセージを勉強している間、私のスクリーンには最新ニュースの通知が表示されていました。計画を捨てて、緊急の暴政に逃げるように私に呼びかけています。しかし、私たちの社会を渦巻く流れの混沌が私や私の注意力を奪う必要はありません。イエスから、彼の言葉から、彼が私を召した人々や目的からではありません。今ここにいてください。立ちなさい。留まりなさい。今ここにいなさい。

ユージン・ピーターソンは、私たちは祝福の場に立つよう招かれていると言います。神がその愛を惜しみなく注いでくださるこの空間に住むために。彼はこう言います: 私たちは、これがいかにユニークで、ただ祝福されていることがいかに爽快なことか気づいているのでしょうか。しかも、それは神による祝福です。要求、批判、誤解、不信、操作、競争、獲得と消費、嘘と扇動が私たちを突きつけるこの世界で、これほど純粋で無条件の祝福があるのでしょうか。立ち止まって、それを受け止めてください。 - ユージン・ピーターソン

パウロは続けて、私たちの闘いは互いに対するものではなく、他のいかなる人間に対するものでもないと説明しています。それは「支配者たち、権威者たち、この暗黒の世界の力、そして天の領域にいる悪の霊的勢力」に対するものです。強い言葉です。エペソ人への手紙全体を通して、パウロは目に見えない敵という考えにほんの少し触れただけです。彼は敵に場所を与えないように警告し、今は邪悪な時代であると述べたり、他のいくつかの言及をしましたが、この節では、彼は私たちの敵をはっきりと名指ししています。彼はすでに、彼らは肉や血でできていないと言っています。つまり、これらの支配者、権威、力は本質的に宇宙的なものです。イスラエルの人々は、アッシリア、エジプト、ローマ帝国など、そびえ立つ名前を持つ巨大な政敵との名高い歴史を持っています。詩篇第 83 篇には、自分たちに敵対した人々の長いリストが載っています。モアブ、アンモン、アマレク、シセラ、ヤビンです。彼らは、狙われ、打ち負かされるということがどういうことかを知っています。しかし、パウロのリストはまったく異なります。ここには、戦って勝敗を分けた物語を思い起こさせるような名前はありません。そこには、目に見えない力の性格の要約があるだけです。邪悪な陰謀 - ギリシャ語では「方法」、敵のやり方は欺瞞的です。これらは私たちの敵が使用する方法で、巧妙です。時には非常に醜く、時には本当に見事な、敵が私たちの邪魔をするために、つまり私たちから立ち上がる能力を奪うために使用する方法は多様で卑劣です。(ストーリー)パウロは彼らにこう言っています。油断せず、目を覚まして見なさい。騙されないでください。神の祝福にしっかりと立ちなさい。そうすれば、敵の方法によって破滅することはありません。

私たちはどのように立ち向かうのでしょうか。パウロは、敵が用いる方法論に対する解毒剤を与えています。パウロは、私たちの周りで働いている邪悪な陰謀とはまったく対照的な6つの言葉、つまり武具と武器を与えています。パウロはこれらの言葉を軍用具に結び付けて

いますが、私は比喻の意味にあまり焦点を当てたくありません。重要なのは、これらの言葉が十分に武装した信者の人生を反映しているということです。

真実

正義

平和

信仰

救い

神の言葉

これらの言葉は計画やプログラムではありません。非人格的ではありません。霊的なスキルでもありません。それらは立場を取った人々の生活の中に見られます。それらは米国に存在し、コミュニティで共にそれを実践することで私たちは成長します。ジェイミーが先週述べたように、これらは存在の賜物であり、行うことの賜物ではありません。ポールは各単語を軍事用語に関連付けて、私たちに思い出させています。外は本当に危険であり、これらの言葉は復活した人々としてのあなたの防御と攻撃になります。私たちにはこの鎧と武器がありますが、私たちはこの世界でこれらの武器でもあります。そして、ポールがベルト、胸当て、靴、盾、ヘルメット、剣として説明しているこれらの武器は、実際には外側に着用されるものではなく、むしろ私たちの内面になります。

真実は欺瞞や落胆に対する障壁となります。正義、つまりイエスと共にあり、イエスのようになることは、あなたの心の安全を守るものとなります。平和は、あなたが世界を軽やかに渡り歩き、あなたが出会ったときよりも良い状態にする手段となります。信仰は、死の激しい刺し傷に対する絶縁シールドとなります。あなたの救いの確信は、あなたの考えや夢や決断を守り始めます...そして神の言葉は、混乱と混沌に絡み合った世界を前進する方法となります。これらの武器はすべて、実際には王イエスとの正しい関係で生きることの賜物です。それらは、私たちの中に、神の力によって強くなり、邪悪な計画が働いているのを見てすぐに善行を行い、しっかりと立ち、絶対的に愛し、私たちの世界に容赦なく奉仕するという冒険に乗り出す準備ができていた人生を育みます。この6つの言葉は、神を知り、神を信頼し、神と協力することの美しい恵みです。真実、正義、信仰、救い、平和、そして神の言葉。

パウロはこの一節をこのように締めくくっています:

“絶えず祈と願いをし、どんな時でも御霊によって祈り、そのために目をさましてうむことがなく、すべての聖徒のために祈りつづけなさい。”

エペソ人への手紙 6:18 口語訳

祈りは、おそらく最も偉大な防御であり、最も強力な武器です。パウロは、聖霊で祈ることについて語っています。(ストーリー)神を立ち上がらせ、敵を散らせ。「神に目を持たせよ。神が見ておられるなら、問題ない。」聖霊で祈ると、神には目があることを思い出します。神は私たちを見ることができ、起こっていることについて意見を持っています。内戦中、人々は同じ神に反対の結果を求めて懇願しました。誰かの計画が間違っていたのです。私は、神が目を持ち、私たちを見ることができること、そして神が見ているものを時々見せてくれることが大好きです。それはこれまでで最も美しいことです。たとえそれがあなたが見たいと思っていたものでなくても。たとえそれがはるか遠くにあるものであっても。ここB4では、私たちは神と共に参加するように作られ、常に命につながる超自然的な方法で神の善良さを見て、聞くように歓迎されていると信じています。

回答: あなたに約束された力の物語に足を踏み入れてください。

祝祷.